

24. 令和2年度大分県高等学校新人ウエイトリフティング競技大会

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和 2 年 11 月 1 日 (日) 8 : 00 ~ 9 : 00 検 量
10 : 00 ~ 競技・終了後閉会式
※開会式は行わない。
- 3 場 所 大分県立杵築高等学校ウエイトリフティング場
- 4 競技規則 令和2年度(公社)日本ウエイトリフティング協会競技規則による。
ただし、30秒ルールとする。なお連続試技は、1分30秒とする。
- 5 競技種目 規定2種目(スナッチ、クリーン&ジャーク)を行う。
- 6 競技方法 (1) 各校チーム対抗戦及び個人戦とする。〔男子55kg～+102kg級(9階級)・女子45kg～+64kg級(6階級)
① 学校対抗は各階級3名以内の5名とし、1位から8位までに得点を与える。
② 各階級の順位点は1位9点/2位7点/3位6点/4位5点/5位4点/6位3点/7位2点/8位1点とする。
③ 学校対抗の得点は、各階級の順位点と下記別表「階級別得点表」を参照し、そのトータル
毎のポイント(特別加算点)を与え、それを順位点と加算して学校対抗得点とする。
④ 2名以上の競技者が、同記録の場合は早く樹立した者が上位となる。
(2) 上記の合計得点によって学校順位を決定する。同得点の場合は、上位入賞者の多い学校が上位となる。
(3) 得点の加算できる選手数を上位得点者から最大5名とする。(6名以上は死点とする)
- 7 参加資格 「令和元年度大分県高等学校新人ウエイトリフティング競技大会要項」の参加資格に準ずる。
- 8 参加制限 (1) 学校対抗戦は、男子55kg級～+102kg級までの9階級とし、各階級3名以内とする。
(2) 個人対抗戦は、男子55kg級～+102kg級(9階級)・女子45kg級～+64kg級(6階級)で、
参加制限は設けない。
- 9 参加申込 (1)締切日 令和2年 10月 13日(火) 必着
(2)方 法 申込用紙はホームページから入手し、下記により期限内に行う。
① 様式に男・女別紙で作成し、各1部印刷・捺印し、下記に郵送する。
② 承認を得た申込書データはメール又は庁内連絡でも送信する。
(3)大会参加に関しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。
(4)参加する学校の選手・監督は体調記録表及び行動履歴表(別紙様式)を作成すること。
(5)宛 先 〒872-0102 宇佐市大字南宇佐1543 宇佐高校内
メール申込先 takeda-yuudai@oen.ed.jp <データ受付期限:10月13日正午必着>
宇佐高等学校 専門委員長 武田 雄大 あて
- 10 出場権の獲得 (1)全九州高等学校選抜大会の出場制限による。
(2)全国高等学校選抜大会の出場制限による。
- 11 組合抽選 (1) 令和2年 10月 15日(木) 9:30～ 大分商業高校 高体連会議室
(2) 組み合わせ抽選は、支部代表による専門委員会で抽選基準にもとづいて行う。
- 12 連絡事項 10月 31日(土) 9:00～ 監督会議・役員・選手・補助員は集合のこと。
10:00～ 会場設営
- 13 感染症等の対策 (1)感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。
(2)競技中の傷病などは緊急時の対応については、緊急体制に従って行動すること。
(3)今大会は、無観客(部員のみ)で開催する。

「大分県高校総体階級別得点表」

	55	61	67	73	81	89	96	102	+102
20p	189	207	220	227	232	236	239	242	245
19p	188	206	219	226	231	235	238	241	244
18p	187	205	218	225	230	234	237	240	243
17p	186	204	217	224	229	233	236	239	242
16p	185	203	216	223	228	232	235	238	241
15p	184	202	215	222	227	231	234	237	240
14p	183	201	214	221	226	230	233	236	239
13p	182	200	213	220	225	229	232	235	238
12p	181	199	212	219	224	228	231	234	237
11p	180	198	211	218	223	227	230	233	236
10p	179	197	210	217	222	226	229	232	235
9p	178	196	209	216	221	225	228	231	234
8p	177	195	208	215	220	224	227	230	233
7p	176	194	207	214	219	223	226	229	232
6p	175	193	206	213	218	222	225	228	231
5p	174	192	205	212	217	221	224	227	230
4p	173	191	204	211	216	220	223	226	229
3p	172	190	203	210	215	219	222	225	228
2p	171	189	202	209	214	218	221	224	227
1p	170	188	201	208	213	217	220	223	226

感染症等の対策に関する留意事項について

ウエイトリフティング専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる。（当日の体調急変を含む）
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用とし一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなど身体的接触をしない。近距離での会話や発声をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること。
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 ウエイトリフティング競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

《 大会本部 》

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけんと消毒液を設置する。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・役員、審判、その他の部員は常時マスクを着用する。（息苦しさを感じた時は外す）
- ・更衣室や控室棟は、利用時間や利用人数を制限する。
- ・大きい声での応援や部員同士の大きな声の会話も原則と禁止する。

《 密 閉 》

- ・更衣室は女子更衣室のみ設置する。使用する際は周囲と間隔を取りながら使用すること。また、使用しない時は窓を開け換気をすること。
- ・会場は定期的に換気を行うこと。

《 密 接 》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。

- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。やむを得ず接触をした場合はその手で自分の顔などを触らず手を洗うか消毒をすること。
- ・応援の際はマスクを着用し、周りとの間隔を2m開けること。また、応援者同士が向かい合って声を出すことが無いようにすること。

《 密 集 》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客同士の間隔は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、等の導線を区分しているので注意すること。
- ・控室は設置しない。学校間で距離を取り空いているスペースを利用する。

《 その他 》

- ・つばや痰を吐くことはしないこと。
- ・選手及びセコンドは競技終了後、速やかに手洗い又は手指の消毒をおこなうこと。
- ・飲食については、周囲の人となるべく距離を取り、対面を避け会話は控えめにすること。
- ・自分で出したごみは自分で持ち帰ること。

杵築高校ウエイトリフティング場 会場図

